

## 第27回通常総会（令和4年9月1日～令和5年8月31日）

## ・勉強会・懇親会 の報告

令和5年10月22日(日)

ホテルフローラ船橋

参加者数	会 員	27名（付添 1名）	
	一 般	3名（付添 1名）	
	ご来賓 医師・市議	3名	
	機器メーカー 6社	6名	
	総 計	39名（付添 2名）	41名

第27回総会は、新型コロナウイルス感染まん延の影響で、4年ぶりの開催となりました。会員の皆様は、再開を、満を持して待たれた総会・勉強会・懇親会との役員の認識の基、会場も久しぶりにホテルでの開催を決断いたしました。内容も、勉強会の先生と機器メーカー様との連携に加え、機器メーカー様のこれまで以上の積極的な懇親会参加にご協力いただき、三位一体の絆を深めるよう企画いたしました。

ご来賓の方々は、相談役の高橋長裕先生が、残念ながら、16～20日のWHO国際統計分類ファミリーの年次会議に出席され、当日22日にご帰国ということで、参加いただけませんでした。以下の通りに、ご多忙の中を9名の方々にご出席賜り、非常に感謝いたしております。

《ご来賓》 船橋市	市議会議員	川井 洋基 様
最成病院ヘルスケアセンター		稲垣 雅行 先生
千葉県済生会 習志野病院 院長		小林 智 先生
心臓ペースメーカー関連機器会社様		
フクダ電子南関東販売株式会社		茨木 彩葉 様
日本ライフライン株式会社		濱島 知里 様
日本メドトロニック株式会社		辻 田 岳 様
バイオトロニックジャパン株式会社		磯貝 太一 様
アボットメデカルジャパン合同会社		高橋 健三郎 様
日本光電工業株式会社		江口 耕一 様

総会は、副支部長加藤澄雄の司会で開始されました。

まず、支部長武山より開会に当たる挨拶が、コロナ禍の見舞いと、活動の質の少なさのお詫びとそれに伴い、総会は手短かに型通りに進め、勉強会と懇親会に時間を割きたい旨のお断りで開始されました。

次いで、来賓を代表して、川井洋基市議会議員の当友の会の障がい者の安心安全の活動に、医療関係者との連携で取り組んでいる姿勢を評価してくださり、総会の開催を祝していただきました。



船橋市市議会議員 川井洋基様



川井洋基市議  
稲垣雅行先生  
小林 智先生



機器メーカー様

## I. 総会

進行 副支部長 加藤澄雄

支部会則に沿い、支部長武山が議長となり、議事は第1号議案から第6号議案・報告事項につき、審議に入りました。



議 事 <議長選出>

- 第1号議案
- 第2号議案
- 会計監査報告
- 第3号議案
- 第4号議案
- 第5号議案
- 第6号議案

<議長退席>

議案説明 支部長 武山忠孝

- 令和 4年度事業報告承認の件
- 令和 4年度収支決算報告承認の件
- 令和 5年度事業計画(案)承認の件
- 令和 5年度収支予算(案)承認の件
- 千葉県支部会則の一部改定(案)承認の件
- 役員(役員候補案)選任の件

第1号議案(事業報告)と第3号議案(事業計画)は前例のない説明方法となりましたが、会合やイベント・行事の内容の報告ではなく、それら事業を実行するための活動をどう進めて、どのような課題問題点が見つかり、どう取り組んでいくのかとの報告と計画となっていたことです。通例と異なる説明で、分かりづらかったと拝察いたしますが、原案通り可決承認されました。

本年も皆様のご意見をお寄せいただき、会の運営に活かしていく決意の基、出席理事10名(欠席1名)と監事1名(欠席1名)が、会員の皆様に顔見せをさせていただきました。

## II. 勉強会「総武線ブロック船橋勉強会」

進行 副支部長 加藤澄雄

● 講演 : 演題 「心臓ペースメーカーに関わるお話」

～ 心臓関係の植え込みデバイス(装置)と注意点 ～

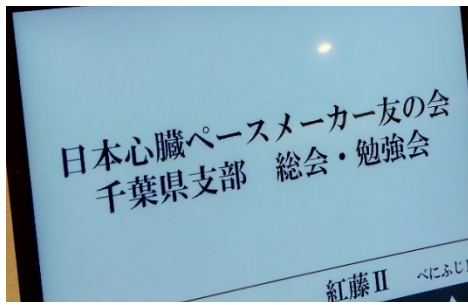
講師 千葉県済生会 習志野病院 院長 小林 智 先生

- ・・・ 心臓ペースメーカーを中心に、植え込みデバイスの紹介と、日常生活での留意点に至るまで、身近なお話を頂きました。  
正しい知識を知り、心配事を払しょくし、安心した生活が取り戻せたと思います。

● Q&A : 座長 最成病院ヘルスケアセンター 稲垣 雅行 先生  
回答 千葉県済生会 習志野病院 院長 小林 智 先生  
心臓ペースメーカー機器会社 千葉県担当 6社様

- ・・・ 参加者各自の普段の悩みや疑問点など不安に思っていることを、率直に質問出来て、多才な先生方機器メーカーの方々の回答に、納得と安心を感じて満足一杯と思います。

Q&A集にまとめられるよう、努力して参ります。



### Ⅲ. 懇親会（昼食茶話会）

進行 理事 長澤 光恭

乾杯のご発生を、アボットメディカルジャパンの高橋健三郎様が、元気よくお取り下さいました。長時間にわたり、空かしたおなかを満たすべく皆さま、まずはお箸に手を出し、料理を口に運んでゆきました。



残念ながら、先生方が重要な急務のために中座されましたが、機器メーカーの方々には、千葉県支部の三位一体の活動を評価して下さいのご感想を頂き、こちら役員の方が嬉しく感じたところでした。

会員さんは、かていてる千葉の投稿でご承知のように、まさに多彩？多才！でいらっしやいます。今回は、辻井素樹様が独唱を数曲ご披露頂きました。もうそれこそ、玄人はだしとは、このことを言うのでしょうか。皆さん、聞き入っていました。

懇親会も始まったころ、うれしいハプニングが起きました。なんと、地元選出の野田佳彦衆議院議員（元総理大臣）が、飛び入りで顔を出して下さいました。野田元総理は、私ども友の会を船橋市の後援事業として後押しして下さいました川井市議を通じて、医者・機器メーカー・患者（会員）の三者の活動に興味をお持ちでした。たまたま、近くに他用で来たついでに、法人格のない三者の団体の活動を自分の目で見てみたくて、立ち寄ったということでした。

野田元総理は、今日の総会が、医師・機器メーカー・患者（会員）が一緒になって、安心した質の高い生活を求めて語り合い、自立を図っていることに理解を示し、“この三者で疑問や不安等が解消できないような仕組みや制度などは、私ら政治にお任せください……”と一席ぶって出て行きました。わずか数分のパフォーマンスでしたが、それなりのインパクトはあったと思います。皆様は、如何お思いでしょうか。

最後は、日本メドトロニックの辻田岳様が、今日の総会と講演とQ&Aの勉強会を通じて体感できた三位一体の活動の活性のために、お互いに元気で頑張ってもらいましょうと、元気を引き継ぐよう呼び掛けて、閉めてくださいました。

閉会

長時間にわたり、お疲れ様でございました。来年の総会・総武線ブロック船橋勉強会は、5月（又は6月）になろうかと思えます。例年5月開催の常磐線ブロック柏勉強会は、逆に、10月ごろになるかもしれません。議案説明でも申しましたが、今期令和5年度（令和5年9月1日から令和6年3月31日）事業計画に計上できなかった理由でもありますが、理事会にて、日程など概要を、早々に決定し、ご連絡できるよう努力いたします。

それでは、再会を楽しみに致しております。